
視線

春月桜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

視線

【Zマーク】

N2007-I

【作者名】

春月桜

【あらすじ】

一人の女が恋をしたお話。

でも、それは叶わないことがすぐにわかる。

でも、嬉しいことが…

(前書き)

あまり詩という感じではないですが。
書いてみたかったので挑戦してみました。
展開がものすごく早いですが、そこらへんはあまり突っ込まないで
ください。

目が合つ瞬間

嬉しい。

そして、何故？

その言葉が頭をよぎる。

私が見てるから？

それとも…

期待が胸を膨らます。

そんなのあるわけないのに。

何故か、期待する。

世の中は何故残酷なんだらうか。

その視線は私じゃなく。

私の隣の大切な友達だった。

嗚呼…

私は大粒の涙を拭つた。

何回も拭いたからか拭つた頬はジンジンと痛さを感じさせた。

そして、翌日また合つた視線は…

隣の大切な友達の笑顔だった。

この世は残酷だ。

そう感じたときだった。

ふと感じた視線は私があまり知らない男だった。

その人から一回目を逸らし、そして、もう一回見つめた。

その人は間違いなく私に微笑んだ。

何故なら、あの人と友達は笑い合っているから。

私は小さく手を振った。

その人はとても嬉しそうに手を振り替えしてきた。

そして、休み時間。

その人がこう言った。

「友達になろう?」

その言葉が。

何故か安心できた。

そして、いつしか、この人と手を繋ぐことになっていた。

終
わり
.

(後書き)

どうでしたか?
あまりよくない作品ですが、最後まで読んでいただきありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2007i/>

視線

2010年12月17日15時30分発行